

連盟だより

ユニテ

佐賀県看護連盟

Vol. 13

平成23年11月



面浮立 (写真提供：佐賀県観光連盟フォトランド)

CONTENTS

- ごあいさつ …………… (2)～(3)
 - 佐賀県看護連盟会長
 - 佐賀県看護協会会長
 - 日本看護連盟会長
 - 衆議院議員 あべ 俊子
 - 参議院議員 高階恵美子
- 高階恵美子参議院議員
佐賀県へ来る!! …………… (4)
- たかがい議員施設訪問…………… (5)
- ポリナビワークショップ特集 … (6)(7)
- 研修会報告・研修案内 …… (8)～(10)
 - 佐賀県看護協会・看護連盟 合同研修会
 - 1支部研修会に参加して
 - 2・4支部合同研修会 3支部研修会
 - 3支部・唐津支部合同研修会報告
 - あべ俊子衆議院議員後援会拡大活動に参加して
 - 自民党佐賀県連女性局中央研修会に参加して
- ホームページ案内 …………… (11)
- 施設紹介 …………… (12)
 - 済生会唐津病院



Unité(ユニテ)…… 「統一性」や「まとまり」、行動の「一貫性」などを意味するフランス語。「1」や「1つ」を意味するun(アン)を語源とする。同じくフランス語のunion(ユニオン)がバラバラなものの寄せ集めの結合を意味するのに対して、unité(ユニテ)は同質のもの、より純度の高い統一を表す。また、単一の基本単位を意味する英語のunit(ユニット)よりも抽象的、理念的な概念

ごあいさつ

佐賀県看護連盟会長 岡部 洋子

今年も残り少なくなり寒さが身に凍みる季節となりましたが会員の皆様はお元気でしょうか。

振り返れば年の初めに「卯の年」株式市場最強の年、跳ねるうさぎの飛躍の年と期待されましたが、東日本大震災の地震、津波、原発事故や台風12号と自然災害の脅威を思い知らされ科学で対応できない人間の弱さを実感した年となってしまいました。

しかし、看護職をはじめ・自衛隊・警察・消防隊員等の活躍を全国に知らしめた年ともなりました。特に我われの仲間、看護職は自宅も悲惨な状況下でありながら家族や自分の生活を犠牲にして病院や地域で必死に患者さんや住民のお世話をされていた姿が多く国民に焼きついたことでしょう。看護職の使命を立派に果たしてくださったことに誇りと尊敬の念で一杯になりました。そして看護職の社会貢献の認識が更に高まったと思います。黙々と頑張っている看護職ですが今後は“堂々と生き活きと働く魅力ある職業”としていく為にも職場環境の改善や労力に見合った報酬とするため私たち一人ひとりの力を結集して看護環境を変えていきましょう。一人でも多くの方々の参加を呼びかけるなど御協力をお願い致します。

気持ちを言葉に出し合う

佐賀県看護協会会長 三根 哲子

時間に追われる感覚が薄れ、朝の時間がゆっくり流れることに喜びを感じるこの頃です。

さて、この一年を振り返ると、3月の東日本大震災や台風が象徴する自然災害が多発して、日本中が自然の力の大きさに驚かされ、今度は、いつ自分に降りかかってくるかも知れないと恐れを抱きました。そして、この災害で学んだことは、1人の力は小さいけれども、ある人は物を…ある人は力を…ある人はお金を…と、できる範囲で提供し合い、知恵と力を出し合えば大きな支援であることを再確認したことです。

私は会長となって間もない時期から、あれも・これもと役員や委員を委嘱されました。県内には、保健・医療・福祉関係だけでも多くの団体が存在し、自分たちの目的達成のため、そして職業を通じた社会貢献で、協力し合っていることを目の当たりにしました。

看護協会は5,200人という県内屈指の会員数ですが、気持ちをひとつにした行動という点では課題もあると強く認識いたしました。

まずは、気持ちを言葉に出し合うことが必要ですよネ…！

佐賀県「ユニテ13号」によせて

日本看護連盟会長 清水 嘉与子

発災から7ヶ月以上すぎても復旧・復興への道のりが見えてこない東日本の被災地、原発を抱えている佐賀県の会員の皆様もきっと心を痛めておられることと思います。

そんな中でまた総理大臣が変わりました。2年前、多くの国民の期待を受けて実現したはずの政権交代でしたのに、何ということでしょうか。何はともあれ、野田総理には、是非東日本大震災からの復興や不安定な経済状況からの脱出など、正に国難とも言える現下の国内外の状況を一刻も早く立て直すために敏腕を振るっていただきたいと願います。

日本看護連盟はこうした政治の状況にも充分目配りしつつ、超高齢社会の社会保障政策に看護職の培った経験や知識を活用するべきとの信念を持って、引き続き看護の代表を国会に送る活動を続けてまいります。候補者選定作業も始まりつつありますが、今回は議員定数の削減など、当選のハードルが高くなることが想定されます。まずは支部組織の更なる活性化が課題です。岡部新会長のリーダーシップの下、佐賀県看護連盟の皆様の一層のご活躍を期待しております。

ごあいさつ

衆議院議員 あべ 俊子

佐賀県看護連盟の皆様、こんにちは。いつも温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

去る3月の震災は、私達国民に大きな悲しみをもたらしました。一日も早く皆様に落ち着いた日常が取り戻せることを目指し、現在国政の場でできることに全力を尽くす毎日です。

震災後、私も被災地に入らせていただき、多くの現場の声を聞かせていただきました。非常事態の中、患者さんを優先してご尽力下さっている看護職や医療従事者の皆様がどれほど多いことか、また現場はどれほどご苦労されているかを身に沁みて感じ、本当に頭の下がる思いになると同時に、このような災害発生を想定した各医療機関の協力・支援体制の整備が急務であることを実感いたしました。そしてこれほどまでに献身的な看護職や医療従事者の皆様の働く環境を整え守っていくためにも、これまで以上に国政において精一杯力を尽くしてまいりたいという思いを強くしております。どうか引き続き、皆様からのお声をお聞かせいただけますよう心よりお願い申し上げます。

高階恵美子参議院議員佐賀県へ来る!!



ごあいさつ

参議院議員 高階 恵美子

こんにちは、たかがい恵美子です。去る8月27日、佐賀県にて国政報告の機会を頂戴し、会場一杯に溢れる皆様の元気なお姿と笑顔に接することができました。また、その後の施設訪問におきまして、現場の貴重なお話をお伺いすることができました。皆様のご活躍されているお姿は、私の活動の原動力となり私を支えてくれています。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

さて、東日本大震災から早や8ヶ月が過ぎました。長く続く国難の時に、根気強く第一線に立って国民の命を支えてくださる皆様に、改めて感謝を申し上げます。

この間私は自民党災害対策本部事務局の医療支援班長として、医薬品・医用材料の調達や職員派遣などの直接支援、そして被災者の生活再建に不可欠な制度・財政面での公的枠組みづくりに携わらせていただいております。また先の通常国会では予算委員会、復興特別委員会、厚生労働委員会、行政監視委員会などで質疑の機会をいただきました。

看護職のプロ目線で幅広くそして厳しく現状の課題を指摘し、提言した政策は必ず実現されるようにと、常に前向きな姿勢で審議に臨んでおります。

こうした議員活動の原動力は、故郷を愛し尊い命を守りぬこうと努力する仲間たちの情熱です。苦境に直面している時だからこそ、ともに生きる私たち一人一人が知恵を出し次の時代を切り拓いていかなければならないのだと強く思うのです。

活動する看護職の一人として、これからもみなさまとともに、真摯な取り組みを続けて参る所存でございますので、引き続き、よろしくご指導ください。



国政報告会を開催して

平成23年8月27日(土) 佐賀市内・マリトピアにて開催

無津呂 さよ

たかがい恵美子参議院議員を、当選後はじめて佐賀県にお迎えしての報告会は、看護連盟会員他看護職、自民党女性局など130名と多数の参加を得ました。開会にあたり「たかがい恵美子と未来を創る会」会長・佐賀県看護連盟会長 岡部洋子、「未来を創る会」副会長、佐賀県看護問題対策議員連盟会長の伊東猛彦県議会議員の開会挨拶後、来賓のご挨拶を衆議院議員今村雅弘氏、参議院議員福岡資麿氏からいただきました。

そしていよいよ高階議員の登場です。いつもの通り「みなさん、こんにちは！」と元気のいい呼びかけから「東日本大震災と医療の現状」～一年間の活動を振り返って～の講演です。3・11の大震災直後から懸命に患者さんや利用者のために働く、被災地の看護職と全国の看護職の皆さんに敬意と感謝を述べられました。

高階議員は自民党災害対策本部『医療班長』としていち早く被災地入りし、救援物資・医薬品等の手配と搬送に尽力されました。又、自民党国会議員が2週間、不眠不休で被災地での支援活動された話も伺えました。

私達看護職の代表が、被災地で人間の生死にかかわる様々な問題にイメージをふくらませて次々に対処していかれる様子を聞き、本当にこの時期に国会の場におられてよかったなあとつくづく思いました。厚生労働委員会や、看護問題小委員会での活躍ぶりを拝見するに、国民の健康、医療、福祉を守るのは、やはり看護職！私達の声を国政の場に届け政策に反映させるために代表を送り続ける必要をあらためて感じた講演会でした。

たかがい議員施設訪問

看護センター

53名の研修生の皆様にごあいさつ



江口病院

藤川病院

山口京子総看護師長他病院スタッフの皆さんが出迎えて下さいました。

スタッフの感想は「美しい！背が高い！頼りがいがある！」でした。

(写真がなくて残念)

江口病院

外来ロビーで病院スタッフの皆さんと感激の対面。

ご挨拶・報告と笑顔の記念撮影です。



ひらまつ病院



ひらまつ病院

ひらまつ病院

院内見学の後、看護職の皆さんと会議室で熱心な意見交換会でした。

佐賀整肢学園

こども発達医療センター

院内を視察され、こども達にも親しく声をかけられました。

会議室で院長や幹部の皆様から小児障害児医療の現場の切実な声を聞いて頂きました。



佐賀整肢学園こども発達医療センター

ポリナビワークショップ特集

佐賀ポリナビワークショップ実行委員長 西村 剛

2011年10月29日に佐賀県看護連盟第2回ポリナビワークショップを開催しました。

今回のテーマとして「若者にもっと看護連盟を知ってもらおう」と、多くの方に参加していただけるようにミニバレー大会を行いました。その結果90名近くの応募があり、参加していただいた皆様から「楽しかった」「また来たい」「1年に何度でもして欲しい」とうれしい感想をいただきました。

内容としては、ミニバレー開会の挨拶に佐賀県看護連盟岡部洋子会長、休憩時には看護連盟のDVD鑑賞、最後に佐賀県看護連盟役員紹介を行い、スムーズな流れの中で楽しみながら看護連盟に触れていただいたのではないかと思います。

何かに触れ、知ることで、人それぞれの「夢」が生まれます。その夢を語り共有し、共に歩みを進める仲間と出会うことで、夢につながる「未来」を創れるのだと考えます。知ることで夢が訪れ、出会うことで未来へとつながる。

ポリナビに参加していただいた方はもちろん、参加した人から看護連盟について伝え聞きする人もいるかもしれません。偶然このページを開きポリナビを知る人もいるかもしれません。きっかけは何でもいいのです。思い描く夢や未来のために、今の私たちがゼロではなく始まりであることに意味を持つのです。

すべての物事には始まりがある。あなたの始まりは今かもしれません。

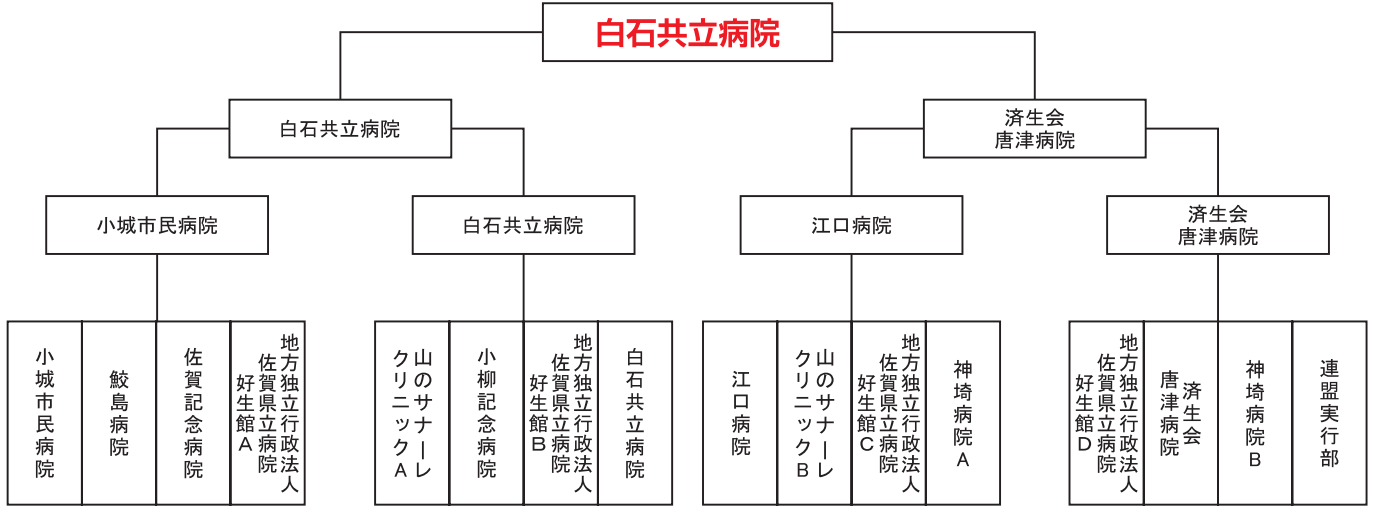


ポリナビワークショップ
佐賀ん病院
N01 決定戦 **ミニバレー大会**

日時:23年10月29日(土曜日)
 9時30分 受付開始
 10時 試合開始
 会場:佐賀市立体育館(駐車場有)
 参加費:無料
 持参品:体育館シューズ
 参加資格:看護職者及び看護学生
 申し込み方法:指定の用紙へ記入後ファックス
 FAX:0952-68-5438
 主催:佐賀県看護連盟 青年部



ミニバレーボール 対戦表



優勝チームの皆さん

青年部 ポリナビワークショップに参加して

白石共立病院 藤本 水希

今回初めて参加させていただきました。

実際社会人になり、スポーツで汗を流す事は殆どなかったのですがとても気持ち良かったです。

また、人見知りの私もスポーツを通すことで自然と会話が出来て楽しい時間を過ごすことが出来ました。

そして何よりも生まれて初めてトロフィーを貰えた事にとっても感激しています。

最後に看護連盟の方々にもこのような行事を開いていただき有難う御座いました。お疲れ様でした。



研 修 会 報 告

佐賀県看護協会・看護連盟 合同研修会



日 時：平成23年7月30日（土）13:30～15:45 会 場：看護センター

講 演：「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて」

講 師：日本看護協会 常任理事 小川 忍 氏 参加者：101名

看護職が仕事と生活を調和（ワーク・ライフ・バランス）させ働き続けるためには、働き方の柔軟性が求められます。仕事と生活が両立できる職場づくりのために、多方面からの視野で法制度について理解したり、時間外労働を減らす工夫をして困っていることを改善していくことが重要と学びました。看護協会では、モデル事業を平成24年度に取り組むこととなっています。生き活きとした職場を目指したいものです。

1支部研修会に参加して

神埼病院 堤 あき子

平成23年10月22日（土）とす市民活動センターにて研修会が行なわれました。参議院議員たかがい恵美子氏の活動報告（DVD）を視聴した後、「離れていても命を思う心は一つ・看護の仲間に誇りを感じます。」と題した、東日本大地震の被災地での活動報告が紙面で紹介されました。看護の視点で将来を見据えた政策を提案し活躍されている、たかがい議員をみて、私たちに出来る活動を続けて行かなければと改めて思いました。



活動報告の後、講師に高木順子先生を招いてフラワーアレンジメント教室があり参加者の皆さんから、楽しかった 久々に癒しの時間を持てた と好評でした。

看護者としての誇りを持ち続け、生き生きと仕事をして患者さんにやさしく寄り添う為には私たち自身も元気でなければなりません。大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。



2・4支部合同研修会

2支部長 藤山 美子

平成23年9月3日（土）ドゥイング三日月で、一度に二度おいしい研修会を下記のように行いました。

一度目は、「笑いヨガ」の理論と実践を行いました。山本先生の話術にのって、適度に身体を動かし、「馬鹿らしくかですね。」といいながら、げらげら笑っているうちに、不思議ですが、幸せな気持ちになりました。ただ、笑う事で、副交感神経が有位になり顔の表情筋のマッサージになります。ストレスレベルが75%に減少しさまざまな痛みが軽減されます。がんに効果的なNK細胞が活性化されます。1分間の大笑いは10分間のジョギングと同程度の有酸素運動です。…これだけ知ったら、やってみたいと思いませんか？「いつでも どこでも 誰でも出来ます。ただし、行う前は、あの人変な人と言われないように周りの人に説明をしておくことが重要。」とおっしゃっていました。年齢を重ねるごとに声を立てて笑う事が少なくなったと思います。笑いの輪が広がったらいいと思います。「わっはは」「いっひひ」「うっふふ」「えっへへ」「おっほほ」



二度目は「阿部俊子衆議院議員と高階恵美子参議院議員」の活動報告DVDを視聴し、医療と社会保障の問題解決を実現してくれると確信しました。私たちの代表が堂々と仕事をされているのを見て、感動し誇りに思えてきました。お二人とも体に気をつけて、国民の為に 看護職の為に頑張ってくださいと思います。ますますファンになりました。

3支部研修会

3支部幹事 名嶋すみ江

8月26日有田共立病院会議室に於いて、出席者40名で3支部研修会を行いました。

岡部看護連盟会長と県役員2名を迎え、高階参議院議員の厚生労働部会での質疑のDVDの視聴と基礎研修を行いました。参加した会員からは、高階議員が颯爽と質問や意見を述べられる場面を見て高階議員を選んでよかった、活動内容が身近に感じられて良かったとの声が寄せられ有意義な研修会でした。

3支部・唐津支部合同研修会報告

済生会唐津病院 小林ゆかり

日 時：平成23年11月5日（土）

演 題：「出す言葉と入れる食」

講 師：佐賀市金泉中学校校長 中野 義文 先生

虹の松原ホテルにて3支部・唐津支部合同研修会が開催され、83名の参加がありました。

講演の始めに佐賀県看護連盟会長の挨拶があり、次にDVDにて高階恵美子参議院議員の活動報告がありました。東日本大震災の被災地の救援・復興のために、現場の声を直接聞き、看護職の目線を生かして活動されていました。

中野先生によるお話は自らの体験を元に言葉・教育・食事の大切さなど沢山のお話を聞きました。「言葉は花束にもなり、ナイフにもなる」というメッセージが印象的です。相手を思いやり言葉を選んで話す事の大切さを改めて感じました。時にユーモアな話しもされ会場内から笑いと涙もあり、和やかな感動的研修会で元氣と職場に活かせる応援メッセージを多く頂く事ができました。



あべ俊子衆議院議員後援会拡大活動に参加して

5支部支部長 古川津代子

平成23年10月17日から19日まで岡山県和気市和気町に佐賀県看護連盟から倉守幹事長と古川の2名が参加しました。3日間とも戸別訪問に最適な天気で、前回平成20年に参加した時は農村地区で範囲が広く長距離歩行しましたが、今回は比較的集中した地区まわりでした。岡山3区は地区が広範囲で選挙活動が難しく、しかも平沼議員の地盤として歴史があるため、あべ俊子議員は大変ご苦労されているようです。岡山事務所の川崎さんに案内していただき1日目は40軒、2日目80軒、3日目36軒の訪問をすることができました。2日目と3日目は大分県看護連盟の安東会長と加藤さんと合流しました。印象に残ったのは、後援会の早瀬様の自宅で強く支援していただき、ミニ集会など協力されているのを聞き心強く感じました。

今後高齢社会となり、医療の現場は増々重要となります。看護連盟活動を地域住民のためになる活動につなげていきたいと思いました。



自民党佐賀県連女性局中央研修会に参加して

佐賀県看護連盟 幹事長 倉守みどり

期 間：平成23年11月9日～10日

会 場：東京 自由民主党本部 パソナグループアーバンファーム（農業支援施設）

講 師：衆議院議員 谷垣禎一 自民党総裁・町村信孝 議員・細田博之 議員・鴨下一郎 議員

今回の対象者は市町村・職域支部女性党員・保守系女性議員の総勢32名で支部で活動しておられる方達であった。

団結式では伊東県会議員が見えられ、「私たちは女性の方達に支えられている。勉強して、楽しんで来てください」と挨拶された。

研修会においては、どの議員の方も『政党奪還』を言われ、「いろんな活動をしていても野党であるがゆえに活動が、報道されず、皆さんに見えない。自民党は長い歴史があり、事案に関し素早く対応し、問題解決をしている。後期高齢者・年金制度など、反省する点もあるが、……。



しかし、年金はこのまま続く。国の公的年金は長生きすればするほど、お得な制度である。若い方達に勧めてほしい」ということであったが、若い人たちに理解を得られるような説明・情報を提示してほしいと思った。

また、今話題の『TPP』について話されたが、農業県の佐賀においては女性局の皆さんは、『反対』と強調された。

2日目は『パソナGアーバンファーム』という、「働く人の健康」・「農業」・「エコ」をコンセプトに様々な取り組みを行っている企業の視察でした。「植物を社員が育てる」「花や緑の空間」をオフィスに提供することで、社員が仕事や職場で抱える様々なストレスを軽減し、生き活きと活躍できる環境を整備、人工光や水耕栽培技術を活かし、都会でできる農業《アーバンファーム》を提供している。

現在、淡路島において若者、男女各100人ずつが半農半芸で学んでいる。1日の半分を農業、残り半分を好きな芸術に勤しみ、地元の人達とコミュニケーションをとり農業の手伝いをし、楽しく学ばれ、意外にも脱落者は2名と少なかったのが驚きであると話された。

緑の多い、休耕田も多い佐賀県では太陽をいっぱい浴びた農作物があって植物も生き生きとしている。口にも美味しい。ただ、従事者は高齢化している。



2日間、看護職では経験のできない学びをさせてもらった。女性のパワーである女性局。縦にも横にも広げられる力がある女性達。この広がりを大事にさせてもらい、看護連盟活動と連携が図れるように今後も機会があれば参加していきたいと思う。

★ 研修案内 ★

リーダーセミナー

日 時：平成23年12月16日（金）
10：00～16：30
場 所：看護センター・多目的室
講 師：日本看護連盟 幹事 三原 淳子

看護管理者・リーダー研修会

（看護協会・看護連盟合同）
日 時：平成24年1月14日（土）13：30～
場 所：看護センター
講 師：日本看護連盟 常任幹事 竹澤 良子

5支部研修会

日 時：平成23年12月10日（土）
13:30～15:30
場 所：武雄杵島地区医師会館
研修① 国会議員の活動報告
② フラワーアレンジメント
講師 岸川 やす子先生

2・4支部合同研修会

日 時：平成23年12月17日（土）
13:30～15:30
場 所：小城保健福祉センターゆめりあ
研修① 看護連盟基礎研修
② フラワーアレンジメント
講師 高木 順子先生

11月1日にホームページを開設しました

平成22年度から計画しておりましたホームページを開設致しました。
 お気軽にアクセスしてみてください。
 ご意見などお待ちしております。
 なお、ユニテをアップしておりますのでどうぞご覧下さい。



<http://kangorenmei-saga.area9.jp>



丸大食品

確かなものを、贈りたい。

Excellent Gift

ご贈答には、丸大食品のハム・ソーセージの詰合せをどうぞ。

お問い合わせ先 丸大食品株式会社 九州特販営業課
 福岡県糟屋郡糟屋町大字内橋673-8
 TEL 092-621-2121
 FAX 092-621-2122

羽毛ふとん一筋半世紀以上

Shanti
 シャンティ



～東洋羽毛は「日本製」であることを
 守りつづけます～



羽毛ふとんのアレコレ何でもわかる!

<http://www.toyoumo.co.jp>



TUK 東洋羽毛

0120-104-203

フリーコール トーヨー フトンサン

済生会唐津医療福祉センター

地域住民の健康と医療に貢献し、患者さんのニーズに応じた看護を提供します。(認定看護師5名、研修中3名)



インドネシアから看護師候補者を受け入れています



ミニバレーボール大会
第2位



ポリナビ担当で
がんばってます!



特別養護老人ホーム
めずら荘 108床

介護老人保健施設
まつら荘 80床

軽費老人ホーム
ケアハウス
寿楽荘 80床

在宅系

在宅介護支援センター
居宅介護支援事業所

訪問看護ステーション

訪問介護事業所

短期入所生活介護

通所リハビリテーション

デイサービス通所介護

訪問リハビリテーション

訪問入浴サービス

訪問給食サービス

済生会唐津病院

一般148床 医療療養45床

7:1看護(H19年)、DPC(H20年)
 臨床研修病院(協力型)、電子カルテ導入(H21年)

会員募集



看護連盟は看護職の代表を国政の場に
 送り、看護と国民の健康・福祉のため
 強力な活動を推進しています。

年会費 8500円 (本部会費5000円・県会費3500円)

賛助会員：当連盟の主旨に賛同いただける方であれば、
 一般市民、介護職の方など、どなたでも入会できます。

看護連盟を支えるのはあなたです!

編集後記

秋も深まり、これから冬将軍の到来も近づいてまいりました。

東日本大震災の被災地の遅い復旧・復興でこの冬をどう乗り越えてゆけるのかと案じられます。一日でも早く、一歩でも前へ安心して冬を迎えられるよう急いで欲しいと思います。看護職の代表議員のご活躍も頼もしく、応援していきましょう。

広報委員 堤 あき子 小池加代子 名嶋すみ江 江頭恵美子 古川津代子
 小林ゆかり 無津呂さよ